

第 53 回 長野市公共交通活性化・再生協議会 議事概要

1. 日 時 令和 6 年 3 月 27 日（水） 午前 10 時から午前 11 時 30 分
2. 場 所 長野市役所第一庁舎 5 階 庁議室
3. 出席者 委員 21 人、欠席 9 人、事務局職員 6 人
4. 次 第
 - 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 報告事項
 - (1) 地域公共交通計画に基づく取り組み状況等について
 - (2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
 - (3) 令和 5 年度協議会事業実施状況及び決算見込みについて
 - (4) 地域連携 IC カード導入事業の進捗について
 - (5) 長野市自転車活用推進計画等について
 - 4 協議事項
 - (1) 令和 6 年度協議会事業計画及び予算（案）について
 - (2) 長野市地域公共交通計画の一部変更について
 - 5 その他
 - 6 閉 会

（議事概要）

報告事項

- (1) 地域公共交通計画に基づく取り組み状況等について

事務局から資料 1 を用いて説明

[意見等]

○A 委員

運転手不足に伴い、日曜日の一部路線バスが全便運休となっていて、現状では 4 月以降も継続される。バス会社で運転手の待遇改善を図ることとあわせ、協議会でも運転手確保に向けた取り組みをお願いしたい。

- (2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

事務局から資料 2 を用いて説明⇒質疑等はなし

(3) 令和5年度協議会事業実施状況及び決算見込みについて

事務局から資料3-1、3-2、3-3を用いて説明

[意見等]

○B委員

資料3-1、5ページについて、「くるる無料の日」の利用者3,762人のうち、10%の388人が新規の利用者で、その388人のうち137人がその後バスを利用したということで、一定の効果があると感じた。

同じく6ページの無料チケット配布について、1,035枚配布したうち126枚が使用されたとのことだが、若干使用数が少ないように感じる。

○事務局

ご指摘いただいた小学生の無料バスチケットについて、昨年度の配布数は今年度と同じく1,000枚程度で使用枚数は78枚と、配布数の1割未満だった。今年度は配布数の1割以上が使用されており、バス利用の促進につながってきている。来年度も内容等を工夫しながら、引き続き実施していきたい。

(4) 地域連携ICカード導入事業の進捗について

事務局から資料4を用いて説明

[意見等]

○C委員

新くるるに切り替わる際のサービス休止期間におでかけパスポートを使用する際、通常の料金形態と異なるため、徴収金額が分かりづらい。運転手に混乱が生じないように、対策を練っていただきたい。

○事務局

おでかけパスポートの担当部署と話をし、ご指摘いただいた点を踏まえながら混乱のないよう対応したい。また、利用者に対しても、適切な時期に広報していきたい。

○A委員

資料にあるように、新くるるを導入する市町村においてラッピングバスの運行がはじまり、事業所も新カード導入の周知をしている。広報とあわせて利用促進事業の実施も必要だと考えている。

○B委員

令和7年の3月中には、新くるるのサービス開始ということで非常に楽しみにしている。JRのSuicaと連携することで、買い物にもカードが使えるようになる。現在Suicaで決済できる店舗が少ないように感じるので、対応できる店舗を増やしていく活動も必要ではないか。

○事務局

事務局でも同様の課題感を持っており、J Rとも連携をしながら検討を進めていきたい。

○B 委員

今後J Rの在来線でS u i c a利用が始まり、しなの鉄道でも導入の検討をしていると聞き及んでいる。交通カードとしての利用拡大についても、お願いしたい。

○D 委員

新くるるのサービス開始と同時期に、長野地域の在来線でS u i c aの使用開始を予定している。

ご承知の通り、S u i c aは店舗での決済機能が搭載されているが、この機能追加がすぐに利用者拡大につながるわけではなく、サービス提供には出費も必要となる。そこで、公共交通の利便性を高め多くの方に公共交通を利用していただけるような仕組みづくりを、事業所と協議会で協力して進めていきたいと考えている。

商業利用についても、新くるるカードが皆様の生活の一部になるよう、協議会と協力しながら様々な仕組みを考えていきたい。

(5) 長野市自転車活用推進計画等について

事務局から資料 5-1、5-2、5-3 を用いて説明

[意見等]

○D 委員

資料 5-1、13 ページについて質問したい。観光客が長野駅を拠点に動く手段として、シェアサイクルが非常に重要だと考えているが、利用拠点が善光寺付近にない。観光客が自らまちを巡る機会を作るという点から、観光地に利用拠点を設けることは非常に有用だと思う。市としてシェアサイクルの利用拠点を、今後広げていくことを検討しているのか教えてほしい

○事務局

当レンタサイクル事業については、観光振興の分野で現在検討を進めている。今年度は長野駅のほか川中島の古戦場で自転車 10 台を設置して実証実験を進め、検証している。善光寺方面の検討も進めていると聞き及んでいるが、具体的になっていないため、いただいたご意見を観光担当部署に伝え、協議を進めていきたい。

○B 委員

資料 5-3 の、1 ページの下にもあるが、自転車のヘルメットの着用について、この計画の中で啓発活動をしていくという観点が必要だと思う。街中の自転車利用者の多くがヘルメットを着用していると感じているが、ヘルメット着用の状況や実態について、現在の状況がわかれば教えていただきたい。

○担当課職員

自転車ヘルメットの着用率は市独自の調査は行っていない。県警によると全国調査等から着用率は 17%ぐらいという結果が出ている。市として、来年度は警察と一緒に着用率を調査したいと考えている。また、市では本年度 1 月から開始したヘルメットの購入費の補助を来年度も継続する予定で、啓発活動とあわせ、ヘルメット着用率のアップにどう繋がっているか、検証をしたいと考えている。

協議事項

(1) 令和 6 年度協議会事業計画及び予算（案）について

事務局から資料 6-1、6-2、6-3 を用いて説明

事業計画及び予算について承認

[意見等]

○B 委員

資料 6-3 について、令和 7 年 3 月の新くるる導入に向けて、施設整備費として 7 億円近い予算が計上されている。主な財源は国交省の国庫補助金、県の補助金、市の負担金となっている。そのうち県の補助金については、県下の IC カード導入に向けて新たに設けられた補助金だと記憶している。本日は県や国の関係機関の委員も出席されているので、この場を借り、引き続きのご支援をお願いしたい。

(2) 長野市地域公共交通計画の一部変更について

事務局から資料 7-1、7-2、7-3 を用いて説明⇒質疑等なし

計画の一部変更について承認